

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
Institute of Advanced Studies

ESD石川シンポジウム
2009年12月12日

Education for Sustainable Development
... research and capacity development for ESD

**DESDをめぐる国際的動向と
国連大学の取り組み**

望月 要子
国際連合大学高等研究所
ESDスペシャリスト

www.ias.unu.edu

概要

- 国連・持続可能な開発のための教育の十年
Decade of Education for Sustainable Development (DESD)
- 国連大学の取り組み
- 日本のRCEの活動

www.ias.unu.edu

持続可能な開発のための教育の10年
〔「教育の10年」:DESD〕



www.ias.unu.edu

持続可能な開発のための教育の10年
〔「教育の10年」:DESD〕

- 「小泉人づくり構想」を踏まえ、日本のNGOと政府とがヨハネスブルグ実施計画で提案(2002年9月)
- 国連総会決議として2002年12月に採択
 - 2005年1月～2014年12月の10年間
 - ユネスコを国際的な推進役として指定
 - 国際実施計画(2005年10月策定)を踏まえ、各国が国内実施計画を策定し、実施するよう要請
- 今年(2009年)がDESD中間年。独・ボンにおいて世界ESD会議開催(2009年3月末～4月)
 - ボン宣言(4月採択)と中間年レビュー(ユネスコより11月発行)において国連大学の取り組みが評価された

www.ias.unu.edu

国連大学高等研究所
ESDプログラム

- 日本政府の支援を得て2003年からスタート。
- 5つの主要な活動分野
 - ESD、「ESDの10年」に関する普及啓発
 - 地域の拠点(RCE)づくりとそのネットワークを通じた地域に根ざしたアプローチの推進
 - 大学、大学院におけるESD活動の強化
 - ICTを活用したオンラインSD教育の推進
 - 教師、トレーナーの訓練

www.ias.unu.edu

ヨハネスブルグサミットでの反省

- 1992年リオサミット(アジェンダ21)以降の10年間、ユネスコが中心になってESDを推進。
- 必ずしも十分な成果が挙げられなかったと、ヨハネスブルグでは評価、反省。
- 反省点
 - 国連、政府による旗振りだけでなく、広く現場の人々に浸透することが必要
 - 最新の科学による教育への支援が重要

www.ias.unu.edu

国連大学高等研究所ESDプログラム —ESD実践とイノベーションのためのネットワーク—

RCE
Regional Centres of Expertise on ESD
ESDを地域で推進するための地域の機関・団体のネットワーク、「地域の拠点」(現在世界で74地域がRCEに認定されている)

ProSPER.Net
Promotion of Sustainability in Postgraduate Education and Research Network
アジア太平洋地域の大学院のネットワーク(アジア環境大学院ネットワーク)

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
www.ias.unu.edu

RCEs around the World

Europe (25)	Asia Pacific (28)	Latin America & Africa (17)	Australia (7)
1. Austria	1. Australia	1. Argentina	1. Australia
2. Belgium	2. Bangladesh	2. Brazil	2. Canada
3. Bulgaria	3. Cambodia	3. Chile	3. Canada
4. Czechia	4. China	4. Colombia	4. Canada
5. Denmark	5. Hong Kong	5. Costa Rica	5. Canada
6. Finland	6. India	6. Cuba	6. Canada
7. France	7. Indonesia	7. Dominican Republic	7. Canada
8. Germany	8. Japan	8. Ecuador	8. Canada
9. Greece	9. Korea	9. El Salvador	9. Canada
10. Hungary	10. Laos	10. Guatemala	10. Canada
11. Ireland	11. Malaysia	11. Haiti	11. Canada
12. Italy	12. Myanmar	12. Honduras	12. Canada
13. Netherlands	13. Nepal	13. Nicaragua	13. Canada
14. Norway	14. New Zealand	14. Panama	14. Canada
15. Poland	15. Philippines	15. Paraguay	15. Canada
16. Portugal	16. Singapore	16. Peru	16. Canada
17. Romania	17. South Korea	17. Uruguay	17. Canada
18. Slovakia	18. Sri Lanka	18. Venezuela	18. Canada
19. Spain	19. Taiwan	19. Zimbabwe	19. Canada
20. Sweden	20. Thailand	20. Zimbabwe	20. Canada
21. Switzerland	21. Timor-Leste	21. Zimbabwe	21. Canada
22. United Kingdom	22. Vietnam	22. Zimbabwe	22. Canada
23. United States	23. West Bank	23. Zimbabwe	23. Canada
24. Uzbekistan	24. Xinjiang	24. Zimbabwe	24. Canada
25. Uzbekistan	25. Yunnan	25. Zimbabwe	25. Canada

持続可能な開発のための教育に 関する地域の拠点(RCE)とは

- Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable Development (RCE)
- 「教育の10年」の目標(持続可能な開発に向けたグローバルな学習の場の構築)を地域レベルで実現するための手段として国連大学が提唱
- 高等教育機関、初等中等教育機関、自治体、NGOその他地域のESD推進者間の革新的な連携・協力のための対話の場

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
www.ias.unu.edu

Regional Centres of Expertise on ESD (RCEs)

Formal education
研究機関
大学 大学
中等教育 中等教育
初等教育 初等教育

Non-formal education
博物館・科学館
植物園
動物園
自然公園
地方公共団体
コミュニティ指導者
メディア
地元企業
地元NGO

セクター間連携

たてのつながり

よこのつながり

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
www.ias.unu.edu

RCEに期待される機能

- 地域のステークホルダー間でESDに関する情報や経験を交流できるような革新的な情報、意見交換の場の構築
- ESDの4つの目標の資源効率的な実施
 - 質の高い基礎教育
 - 既存の教育カリキュラムの再編成
 - 人々への普及啓発
 - 企業、社会等の研修、訓練プログラムの推進
- ESDに関する地域の知識ベースの構築

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
www.ias.unu.edu

RCEとグローバルな学習の場

- RCEとそれらの世界的なネットワークによる「持続可能な開発に向けたグローバルな学習の場」の構築
 - 「教育の10年」の目に見える成果と期待
- 国連大学は、DESDの期間を通じてRCEとそのネットワークを推進すると表明。
- そのため、RCEの推進に資するような適切な情報の提供、RCE間のネットワークの促進を支援するようなRCEサービスセンターを国連大学高等研究所に設置。

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
www.ias.unu.edu

RCEにおける 高等教育機関に期待される役割

▲ 地域の「知識ベース」の中核を担う

- 最新の科学技術の知見を教育内容に反映させる
- 理論と実践をつなげる
 - ✓ 科学の知見とローカルな「知」をつなげる
 - ✓ 「実践共同体」としてのRCEにおける学習過程、ESDを推進するための仕組みを検証する
- カリキュラムや教材を開発する

▲ RCE間国際連携(特に専門性に立脚しテーマ別ネットワーク)を先導する



UNITED NATIONS
UNEP-IAS
Institute of Environmental Studies

www.ias.unu.edu

13

国内RCEの活動

- ▲ RCE仙台広域圏(事務局:宮城教育大学)
- ▲ RCE横浜(事務局:横浜市)
- ▲ RCE中部(事務局:中部大学)
- ▲ RCE兵庫-神戸(事務局:神戸大学)
- ▲ RCE岡山(事務局:岡山市)
- ▲ RCE北九州(事務局:北九州市)



UNITED NATIONS
UNEP-IAS
Institute of Environmental Studies

www.ias.unu.edu

14

実践例 RCE仙台広域圏

RCEの基本理念

RCE概念図「たて・よこ・ななめ連携」の強化

→気仙沼市面瀬小学校1-6学年の体系的環境教育カリキュラム構築で蓄積したノウハウ、「グッド・プラクティス」を、

1. 市教委主催の教員研修を通じて気仙沼市の他の小学校へ
2. フルブライト・メモリアル基金のマスター・ティーチャー・プログラムに地域参加することで、面瀬中学校と気仙沼高校の連携して中等教育レベルへ拡げる努力



UNITED NATIONS
UNEP-IAS
Institute of Environmental Studies

www.ias.unu.edu

面瀬小学校とリンカーン小学校の ペアプロジェクト

	面瀬小学校	リンカーン小学校
植物	自然と祭り(1年)	Halloween & Moon Festival of Native American
	野菜栽培(2年)	School Lunches and Local Food Systems
水辺環境	BUGS マップ(3年)	Muir Woods Soil and Insect Study-BUGS Project
	面瀬サンクチュアリ(4年)	Water Study (Creek Project)
	海のミュージアム(5年)	Pothole Study & Fast Plants Seed Challenge
	環境未来都市(6年)	Built Environment-Terracetown 2004 (BoxCity)



UNITED NATIONS
UNEP-IAS
Institute of Environmental Studies

www.ias.unu.edu

面瀬小学校 宮城教育大学・環境研との連携

1,2年 野菜栽培
同助教授

3年 昆虫採集・調査
渡田助手

4年 面瀬川の水生生物調査
葉上センター長
(2012.9.16日全(2005年2月))

UNITED NATIONS
UNEP-IAS
Institute of Environmental Studies

www.ias.unu.edu

面瀬小学校 地域との連携

海の3・5M・PFD科捜査室(北かつ)

未来都市ジオラマづくり(建築士会)

カキ養殖の見学(地元養殖家)

岩井崎の磯観察(自然塾)

まとめ

- 1 ヨハネスブルグサミットでの議論を踏まえDESD (2005-2014)を国連で決議。ユネスコが先導機関。
- 2 国連大学はESDプログラムを立ち上げてESDを推進。
- 3 国連大学ESDプログラムは地域における取り組み(RCE)の推進と大学におけるESD活動の強化を重視。

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
www.ias.unu.edu

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
Education for Sustainable Development
... research and capacity development for ESD

For further information, please visit:
www.ias.unu.edu/efsd
ありがとうございました
mosh@ias.unu.edu

国連大学高等研究所
持続可能な開発のための教育プログラム
〒100-8385 東京都千代田区千代田1-1-1
12Fの講義棟
Tel: 045-221-2300 Fax: 045-221-2302

UNITED NATIONS UNIVERSITY

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
Education for Sustainable Development
... research and capacity development for ESD

参考資料

UNITED NATIONS UNIVERSITY

持続可能な開発のための教育(ESD) リオサミットでの議論

- 1 4つの目標(アジェンダ21第36章で重要性を強調)
 - 質の高い基礎教育へのアクセスの改善
 - 持続可能な開発(SD)という考え方を取り込むような既存の教育カリキュラムの再編成
 - SDに関する人々の理解と意識の向上
 - 民間企業や市民社会の全ての部門における研修・訓練プログラムへのSDの導入

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
www.ias.unu.edu

「教育の10年」のビジョン - グローバルな学習の場の構築 -

誰もが世界のどこにおいても

- 質の高い教育から恩恵を受ける機会があり、
- 持続可能な未来や好ましい社会の実現のために求められる価値観、行動、ライフスタイルを学ぶ機会が得られるような

社会を構築すること

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
www.ias.unu.edu

国際連合大学

- 1 設立
1975年に当時のウタント国連事務総長の発案により東京に本部を設立
- 2 使命
人類の存続、発展及び福祉にかかわる緊急かつ世界的な問題の解決を目指す
- 3 主な役割
 - 学者、研究者の国際的ネットワークの推進
 - 国連と世界の学術社会との「懸け橋」
 - 国連システム全体のシンクタンク機能
 - 途上国をはじめとする研究者の能力育成
 - 新しい創造的な理念の討論の場の提供

UNITED NATIONS UNIVERSITY
UNU-IAS
www.ias.unu.edu



国際連合大学高等研究所

1 使命 (1996年設立)
 持続可能な開発への挑戦に合致するような新たな知識の構築と政策決定に向けた学習の推進

2 主な活動

- 生物多様性外交
- 生態系サービス評価
- 持続可能な開発のためのガバナンス
- **持続可能な開発のための教育**
- 持続可能性に関する科学技術政策
- ・ 特別プログラム

www.ias.unu.edu

高等教育におけるESD

GHESP(Global HE for Sustainability Partnership)のHESD(Higher Education for Sustainable Development)の特組み

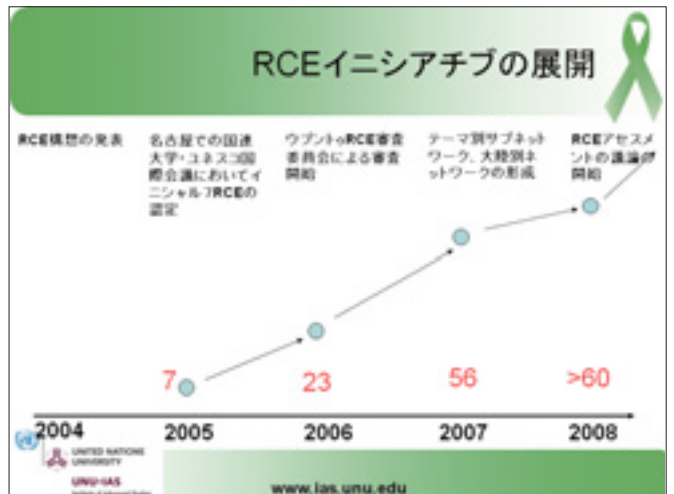
GHESP
 UNESCO, COPERNICUS-CAMPUS, ULSP, IAU, UNUのパートナーシップ

✓SDを高等教育に取り入れる方策(特に教育と研究への学際的なアプローチ)のより効果的な実施
 ✓HESDの優良実践(グッド・プラクティス)の共有と発信

Ubuntu同盟
 ✓科学コミュニティと教育コミュニティの連携
 ✓フォーマル教育とノンフォーマル教育の連携

HESDの特組み

www.ias.unu.edu



RCEコミュニティと世界のESD

GHESPとの協働「教育の10年」開始 **UNEI国際環境計画**、ユネスコ、IAU(国際大学協会)等との協力関係強化

「教育の10年」中間年 ボン会議における高等教育とリサーチの分科会およびRCEサテライト開催

2003-2004 2005 2006 2007-2008 2009

www.ias.unu.edu